

令和7年度学校評価報告書

令和8年（2026年）3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌月寒高等学校長 三村 素道 印

次のとおり令和7年度の学校評価（全日制）について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 学ぶ意欲を喚起するきめ細かな学習支援・学習指導
- (2) 豊かな人間性を育む発達支持的な生徒支援・生徒指導
- (3) 主体的な進路選択と個々の進路実現を目指す進路支援・進路指導
- (4) 自他の健康と安全を目指す健康支援及び健康・安全指導

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラデュエーション・ポリシーに示された資質・能力を身に付けさせる意識付け等、授業改善に繋がる取組が出来た。 ・ 本校のwifi環境に難が見られるが、ICTを活用する取組は従前より見られた。 ・ 授業評価アンケートについては実施後の検証が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善に向けて引き続き工夫・充実を図っていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修の内容の充実や校外研修への積極的な参加を奨励する。 ・ 授業評価アンケートを有効活用し、授業改善を図る。 	
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「指導」から「支援」へ、自らの規範意識を高め、自己管理できる能力の育成を図り、実践した。 ・ 面談月間を年2回設定し、生徒の安心安全な学校生活に繋げる機会とできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会を牽引するために必要な資質・能力の育成に繋がるよう生徒への支援を継続していただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の自己調整力を高められるような指導・支援を継続していく。 ・ 地域社会に貢献する活動(学校周辺・月寒地区)を特別活動や課外活動等を通して実践していく方法を模索する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な進路選択を可能とする資質・能力に努めた。 ・ 進路希望実現において様々な教員がそれぞれの立場や専門性を活かし、適切な支援等を実施できた。 ・ 総合的な探究の様々な取組について、本校の相互理解と進むべき方向性の確認の必要性を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な探究について、自分自身の進路選択に繋がるような課題発見・解決的な取組を推進していただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の自主的な進路選択を推進するための適切かつ丁寧な支援のさらなる充実を図る。 ・ 総合的な探究の取組について、内容の充実と生徒の進路意識醸成に繋がる支援を推進する。 	
保健安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回の面談月間を設け、生徒の健康や安全に繋がる安心感・信頼感を醸成する機会と出来た。 ・ 支援委員会を中心とし、きめ細かな生徒支援を試みた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き多様な生徒への対応や支援体制強化に努めていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面談月間や支援委員会の定例化等、推進できた点を維持しつつ、スクールカウンセラーや外部関係機関等の教育力有効活用について、工夫・充実を図る。 	
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度もPTAとの良好な連携の下、学校祭等様々な教育活動の充実を図ることが出来た。 ・ 同窓会や地域住民との連携強化を図り、様々な学校に対する支援体制を構築できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部活動の部室設置等、目に見える形で成果が上がっているのは素晴らしい。次年度も期待している。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度さらに推進できるようPTA・同窓会はもとより、地域等との連携を意識した活動を推進していく。 	
公表方法	学校ホームページ 学校評議員会	

3 添付資料
令和7年度学校関係者評価票（職員自己評価の内容を含む）